





HIROSAKI UNIVERSITY 2022

# 弘前大学医学部医学科

School of Medicine



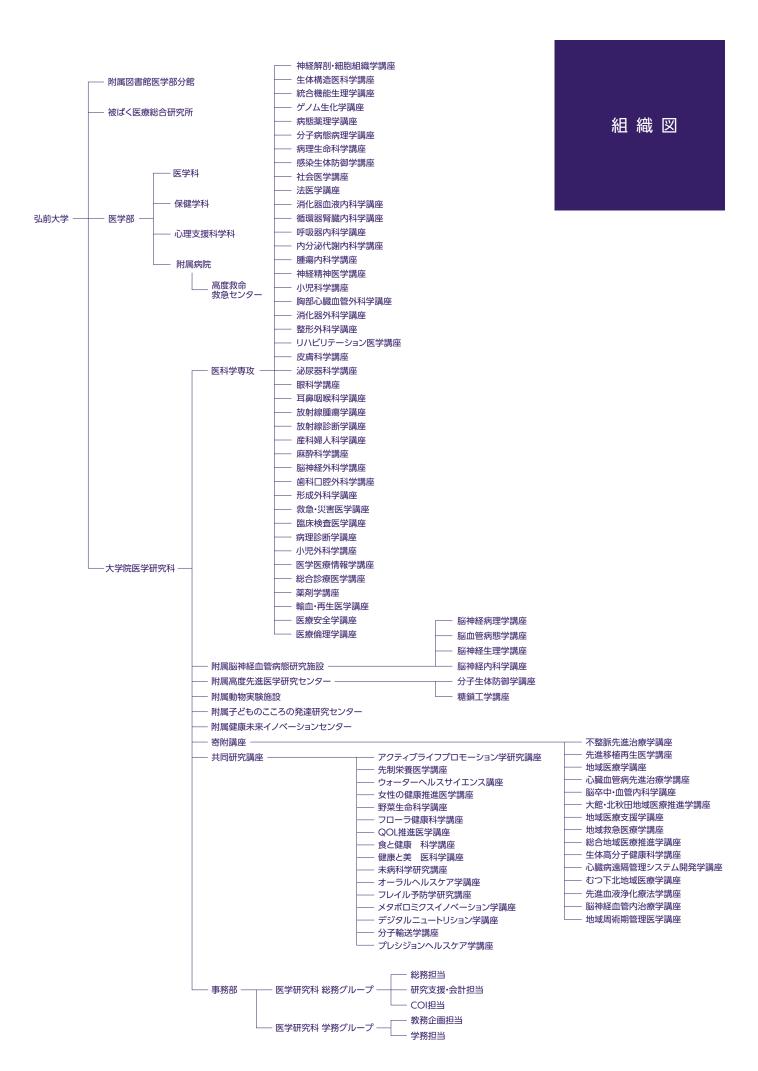
# 弘前大学 医学部医学科で 学ぶということ。

豊かな人間性と高度な医学知識に富み、広い視野と柔軟な思考力を もって社会的役割を果たすことができる医師および医学研究者を養成 するため、効果的に医学を学ぶことのできるカリキュラムのもと、人間 性と社会性を高めることのできる教育を行っています。

医学は自然科学の一分野にとどまらず、人文・社会科学をも含めた 総合科学です。時に困難を極めるこの世界に、私達は若い力の挑戦を 求めています。









## 基礎医学講座・高度先進医学研究センター

#### 基礎医学講座 -

#### 神経解剖・細胞組織学

Neuroanatomy, Cell Biology and Histology

授業科目では「脳の科学」のうち脳の構造に関する授業と実習お よび顕微鏡による人体の構造の授業と実習をしています。

#### 生体構造医科学

Anatomical Science

医学部教育の柱となる人体の構造、特に肉眼レベルでの構造 や個体発生についての講義および実習をしています。

#### 統合機能生理学

Physiolog

脳における随意運動の決定・企画・構成・準備など、さまざまな脳機能について、また生体の糖代謝を調節する仕組みについて、細胞および分子レベルの研究を進めています。

#### ゲノム生化学

Biochemistry and Genome Biology

がんになりやすさと遺伝子多型(個人差)の関係、分化や細胞死などの誘導を研究し、予防、治療法の開発に貢献しています。

#### 病態薬理学

Pharmacology

心血管系疾患の不整脈、狭心症、心不全や高血圧などの発生機序とそれらの治療薬の作用機序、脊柱後縦靱帯骨化症の成因と治療法を研究探索しています。

#### 分子病態病理学

Pathology and Molecular Medicine

人体標本について病理診断を行うともに、病気の原因や成り立 ちを調べ、新しい治療法を探索しています。

#### 病理生命科学

Pathology and Bioscience

が礼細胞の特徴を見出し、その増殖や転移を抑制する研究、 生物時計(体内で一日のリズムを刻む)の遺伝子レベルでの機 能解析の研究をしています。また、が礼診断(顕微鏡レベル)で 医療に貢献しています。

#### 感染生体防御学

Microbiology and Immunology

細菌・ウイルス・寄生虫などの感染症の発病・病理機序と予防・治療、感染症を含む炎症性疾患に対する免疫系の研究を行っています。

#### 社会医学

Social Medicine

地域社会で生活する住民の疾病予防や健康の維持・増進を 目指す活動・研究を行っています。

#### 法医学

Forensic Medicine

犯罪や事件、事故の疑いがある状況で亡くなった方々の死因や 身元を医学的に究明する仕事をしています。

#### 高度先進医学研究センター -

#### 分子生体防御学

Stress Response Science

酸化ストレス疾患との関係を分子生物学やマウス発生工学を用いて研究しています。

#### 糖鎖工学

Glycotechnology

細胞の接着や情報伝達などに関与する糖鎖の研究を行い、医学、治療学への応用(糖鎖医学)を目指しています。



## 脳血管病態研究施設・寄附講座・共同研究講座

#### 脳神経血管病態研究施設

#### 脳神経病理学

Neuropathology

脳疾患の病理診断に加え、神経難病の病態解明 を目標に形態と分子の両面から研究を進めています。

#### 脳血管病態学

Vascular Biology

脳血管障害(脳卒中)の予防・治療を目的に、血管 系および神経系の細胞生物学的研究を行っています。

#### 脳神経生理学

Neurophysiology

遺伝子異常を導入した動物を用い、神経疾患 の発症機構の研究を行っています。

#### 脳神経内科学

脳神経疾患の研究と附属病院神経内科の診療 を担当。今世紀は脳の世紀、患者さんを通して 神経系の謎に挑む部門です。

#### 寄附講座 ·

#### 不整脈先進治療学

Advanced Management of Cardiac Arrhythmias

#### 先進移植再生医学

Advanced Transplant and Regenerative Medicine

#### 地域医療学

Community Medicine

#### 心臟血管病先進治療学

Advanced Cardiovascular Therapeutics

#### 脳卒中・血管内科学講座

Stroke and Cerebrovascular Medicine

#### 大館・北秋田地域医療推進学

Community Healthcare Development in Odate and North Akita

#### 地域医療支援学

Community Medical Support

#### 地域救急医療学

Community Emergency Medicine

#### 総合地域医療推進学

Development of Community Healthcare

#### 生体高分子健康科学

Biopolymers and Health Science

#### 心臓病遠隔管理システム開発学

Cardiac Remote Management System

#### むつ下北地域医療学

Community Healthcare Development in Mutsu and Shimokita

#### 先進血液浄化療法学

Advanced Blood Purification Therapy

#### 脳神経血管内治療学

Neuroendovascular Therapy

#### 地域周術期管理医学

Perioperative Medicine for Community Healthcare

#### 共同研究講座 -

#### アクティブライフプロモーション学

Active Life Promotion Sciences

#### 先制栄養医学

Preventive Nutrition and Laboratory Medicine

#### ウォーターヘルスサイエンス

Water Health Sciences

#### 女性の健康推進医学

Women's Health Care and Promotion

#### 野菜生命科学

Vegetable Life Science

#### フローラ健康科学

Microbial Flora and Health Science

#### QOL推進医学

QOL and Health Promotion

#### 食と健康 科学

Diet and Health Sciences

#### 健康と美 医科学

Health and Beauty Science

#### 未病科学研究

#### オーラルヘルスケア学

Oral Healthcare Science

#### フレイル予防学

Frailty Research and Prevention

#### メタボロミクスイノベーション学

Metabolomics Innovation

#### デジタルニュートリション学

Digital Nutrition and Health Sciences

#### プレシジョンヘルスケア学

Precision Health Care

#### 分子輸送学

Molecular Transport



## 臨床医学講座

#### 消化器血液内科学

Gastroenterology and Hematology

消化器疾患・血液疾患・膠原病の診療とヘリコバクター感 染·炎症性腸疾患・血小板機能などの研究を行っています。

#### 循環器腎臓内科学

Cardiology and Nephrology

心疾患、腎臓病の診療と研究を行っています。不整脈・心筋 梗塞・腎炎・腎不全など生命にかかわる重要な疾患を担当し ています。救急医療にも力を入れています。

#### 呼吸器内科学

Respiratory Medicine

慢性肺疾患や肺癌など呼吸器疾患の診療と研究を行っていま す。高齢化社会においては、重要な疾患を担当しています。

#### 内分泌代謝内科学

下垂体、甲状腺、副腎など内分泌腺の疾患、また生活習慣病 として社会問題化している糖尿病や高脂血症について、専門 的診療・研究を行っています。

#### 腫瘍内科学

日本人の死因の一位はがんです。様々な悪性腫瘍の内科的治療を担当し、 青森県のがん死亡者の減少を目指して、教育・診療・研究に励んでいます。

#### 神経精神医学

私たちは「ここで治らなければ他でも治らない」という意気込みで、 診療・教育・研究に従事しています。

#### 小児科学

Pediatrics

優秀な専門医が各々の専門診療・教育・研究を活発に展開 し、青森県のこども病院の役割を担っています。

#### 胸部心臟血管外科学

心臓血管外科と呼吸器外科を中心とした外科の臨床と研究を 行っています。患者さん中心の医療を掲げ、手術症例数は多 く、周辺病院から紹介された困難な手術を手がけています。

#### 消化器外科学

Gastroenterological Surgery

消化器・甲状腺・乳腺疾患に対し手術を中心とした診療技術 の鍛錬・開発を行っています。

#### 整形外科学

整形外科への社会的ニーズの増大に対して、最先端医療にて対応しています。

#### リハビリテーション医学

Rehabilitation Medicine

運動などの機能障害からの回復を目指すとともに、予防医学的アプロー チによる診療と研究を行い、高齢化社会への貢献を目指しています。

#### 皮膚科学

先天性皮膚疾患の遺伝子診療、皮膚悪性腫瘍に対する先 駆的な検査、治療法の開発に取り組んでいます。

#### 泌尿器科学

Urology

前立腺癌、腎癌、膀胱癌などの悪性腫瘍、腎不全、腎移植、 排尿障害などの診断から治療までをトータルマネジメントしています。

#### 眼科学

患者さんの診療に加え、色々な眼の病気の新しい治療法の研 究・開発を行っています。

#### 耳鼻咽喉科学

21世紀はQuality of Lifeにとって重要な感覚器(聴覚・平衡 覚・嗅覚・味覚)を取り扱う耳鼻咽喉科の世紀です。

#### 放射線腫瘍学

Radiation Oncology

全身のがんに対応できる放射線治療専門医の育成と難治癌に 対する新たな治療法の研究・開発に取り組んでいます。



#### 放射線診断学

最先端医療機器による画像診断とIVRを通じて、社会に貢献で きる画像診断専門医の育成と研究活動を行っています。

#### 産科婦人科学

Obstetrics and Gynecology

周産期医学、腫瘍学、生殖医学から構成され、内科、外 科、女性科、新生児科を総合した医学です。

#### 麻酔科学

臨床麻酔、集中治療、陣痛外来、終末期医療を通じて全人 的医療を目指しています。

#### 脳神経外科学

「医療は地域に、医学は世界に」を胸に、脳神経外科最先端 医療の開発とその地域医療への提供を実践しています。

#### 歯科口腔外科学

Dentistry and Oral Surgery

口腔顎顔面の構造と機能を正く理解し、医師として最低限必 要な顎口腔疾患の診断と治療に関する事項を担当しています。

#### 形成外科学

Plastic and Reconstructive Surgery

乳房再建や外傷後の傷跡を目立たなくするなど、患者さんの生 活の質を高める治療を行っています。

#### 救急・災害医学

Emergency and Disaster Medicine

大学病院高度救命救急センターでの重症傷病者に対する救 急医療と、災害時救急医療の研究·教育を行い、地域の救急 の要になることを目指しています。

#### 臨床検査医学

Clinical Laboratory Medicine

主に新たな検査マーカーや検査法の開発およびその評価につい て検査部スタッフとともに取り組んでいます。

#### 病理診断学

Anatomic Pathology

生検診断、手術検体診断、細胞診、病理解剖など臨床医療 としての役目を担い、医療の質に貢献すべく励んでいます。

#### 小児外科学

Pediatric Surgery

出生後すぐ手術をしなければ死亡する先天性異常や小児がんな ど、外科的治療を必要とする子どもの病気を扱います。

#### 医学医療情報学

病院情報システムの開発・運用と診療録管理を行い、診療の 充実を図ります。病院管理学の学部講義も行っています。

#### 総合診療医学

専門化・細分化した現代医療の中で、全人的に人間を捉え、 特定の臓器・疾患に限定せず多角的に診療を行う分野です。 医学教育やプライマリーケアにも力を入れています。

#### 薬剤学

Pharmaceutical Science

適正な薬物療法を支援するために、医薬品の管理、供給、 情報の提供および患者さんへの服薬指導を行っています。

#### 輸血・再生医学

Transfusion and Cell Therapy Medicine

ヒトからヒトへの命を繋ぐ、安全で適正な輸血・再生医療の提 供に取り組んでいます。

#### 医療安全学

Patient Safety

医療事故が起きる背景や医療事故を防ぐためのシステム作り、 チーム医療を推進し安全で質の高い医療を提供するための方策 を学びます。

#### 医療倫理学

倫理審査などを通じて、社会的にも関心の高い医療および臨床 研究における倫理の問題に取り組んでいます。

## 先/輩/メ/ッ/セ/一/

## 「岩木健康増進プロジェクト」に 感銘を受けて入学を決意

医学部医学科2年

#### 本山 岳志 ぁゎ

私が理想とする医師像は「全身を診ることができる医 師」。そのため、大学を選ぶ際は、総合診療学や病理学 に関する研究や教育に力を入れているかどうかを重視しま した。本学は、他大学に比べて病理学講座の数が多い のが特徴です。また、「岩木健康増進プロジェクト」のよ うに、全国に先駆け県民の健康寿命を延ばすために尽力 されている先生方の姿に感銘を受け入学を決めました。

本学の魅力は地域医療に力を入れていること。「地 域医療入門」という授業では、実際に現場で働いている 先生方から地域医療の現状について学ぶ機会があり大 変勉強になります。組織学実習では、さまざまな組織標 本のスケッチを行いました。胎児の肺の標本を見た時、 私たちが医学を学ぶことができるのは、ご自身の心身を 提供してくださっている方がいるおかげだと感じ、その方 たちの思いに報いるためにも努力したいと思いました。

ゴルフ部に所属していますが、同期、先輩、後輩み んな仲が良く和気あいあいとした雰囲気のなかで練習に 励んでいます。将来は、治療はもちろん病気予防など医 学知識の普及にも力を入れていきたいと思っています。



## 多彩なバックグラウンドを持つ 人たちと共に学べるのが魅力

医学部医学科3年

#### 大志民 一成 क

●青森県立八戸高等学校出身

本学の医学科は、県内出身者だけではなく関東圏や 関西出身の方も多く、また学士編入者も受け入れている ので、多彩なバックグラウンドを持つ人たちと交流できる のが魅力です。先生方も非常に教育熱心で研究室の見 学も歓迎されるし、勉強に関する質問にはていねいに対 応してくださいます。学生のやる気次第でどこまでも応え てくれるので、大変素晴らしい環境だと思います。

所属している医学部軟式テニス部は、医学部の部活 のなかでは一番人数が多く活気があります。部活を通じ て得た縦横のつながりは、これからの人生においてかけ がえのないものになると感じています。

今後、赴いてみたい現場は、病理解剖やドクターへ リ、三沢の米軍基地内にある病院です。将来は、海 外の先生たちとの交流を通じて知見を広げ、臨床、研 究、教育、それに自分なりのプラスαのスキルを身につ け、マルチに働ける医師になりたいです。受験生の皆さ んは、コロナ禍で先の見えない状況のなか大変だと思い ますが、医師になりたいという強い気持ちは苦しい時の 道しるべになります。皆さんをお待ちしています!



## 多彩な実習や研究室研修など 本学独自の教育内容が充実

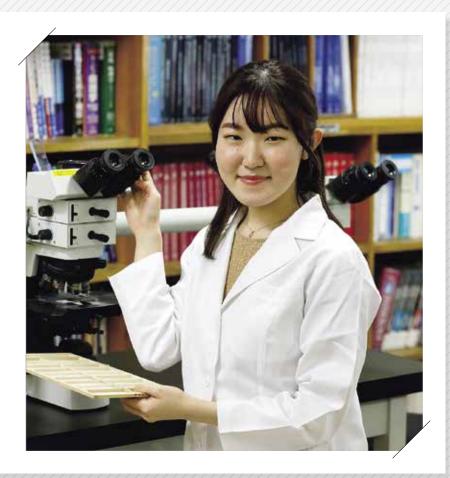
医学部医学科4年

#### 奥寺 真子 さん

高校時代に青森県下北半島にある東通村診療所を見 学する機会がありました。患者さんと信頼関係を築きなが ら診療にあたる医師の姿に感銘を受け、将来自分も青森 県で医師として働いてみたいと思いました。

本学を志望したのは、地域に根差した医療を実践し ながら、国際水準の医学研究を行っている点に魅力を感 じたからです。また、医療現場や福祉施設で早期から体 験実習ができるアーリーエクスポージャーや、医学研究の 基本を学ぶ研究室研修、「岩木健康増進プロジェクト」 への参加など、本学独自の教育内容にも魅力を感じまし た。特に印象に残っているのは、3年次後期の研究室研 修。半年にわたって先生から手ほどきを受けながら1つの テーマを研究し、最後は英語で研究発表を行いました。

医学部茶道部に所属し、茶道の先生にお点前や所作 の指導をしていただきながら、相手への敬意や思いやり の心を学んでいます。本学で学んだ知識や部活を通して 生まれた温かいつながりを大切に、将来は、地域医療を 支える一人として、青森県の医療に貢献したいと思ってい



## 医学的知識や技術に加え 人間力が身に付く弘前大学

医学部医学科5年

#### 清水 花穂 ぁん

本学では2年次に「地域医療入門」という座学があ り、6年次のクリニカルクラークシップでは4週間のへき 地医療実習が義務づけられています。そのため、地域に 根差した医療を実践的に学べる点に魅力を感じました。

臨床実習を通じて感じたのは、多様な職種の人が連 携し合うことで成り立っている医療現場は、コミュニケー ション能力が重要だということ。本学は部活やサークル もさかんなうえ、総合大学のため学部を越えてさまざまな 価値観にふれることができるので、人間的により成長でき ると思います。私は、医学部陸上部と医学部山岳部に所 属しています。コロナ禍以前は、仲間と一緒に東北や北 海道の山々に登って美しい自然を満喫していました。津 軽の人は温かい人が多く、銭湯や商店街、アルバイト先 などでも気さくに接してくださいます。1年次の専門科目 で津軽弁の講義を受けましたが、「津軽弁を理解する ことよりも、津軽弁で話してもよいと患者さんに思ってい ただける雰囲気を作ることが重要だ」という先生の言葉 がとても印象的でした。医学的知識や技術に加え、人 間力を磨くにはぴったりな大学だと感じています。





# Campus Photo Gallery 実習や卒業研修に励む学生たち





### 医学科カリキュラム

弘前大学医学科の教育課程の特徴は、診療参加型教育、地域医 療教育、少人数教育にあります。診療参加型としては、早期臨床体験 実習(1年次)、臨床実習(クリニカルクラークシップ)(5.6年次)が挙げ られます。1年次の早期臨床体験実習は附属病院と学外施設(障碍者 支援施設、老人ホームなど)で行っています。さらに、6年次の臨床実習 では、学外を含む4病院(診療科)を体験します。地域医療教育として は、地域医療入門(2年次)、社会医学実習(3年次)があり、6年次の 臨床実習では4週間の地域(へき地)医療実習を義務付けています。少 人数教育としては、基礎人体科学演習(1年次)、研究室研修(3年 次)、PBL(Problem-based Learning)(4年次)を導入し、研究室研 修発表会では全員が発表と質疑応答を行います。さらに、医師としての 役割や医療倫理に関しては、医の原則(1年次)、医療安全学(4年

次)の授業を実施しています。

これらの授業の展開により、入学後早期からの医療現場の体験、地域 医療を含む体験型臨床実習の実施、地域社会との連携による医療関連 教育の実践を行い、職業観の涵養や社会に参画する意欲・態度の形 成、専門的職業人(医師)としての役割、そして郷土愛を身に付けます。

卒業後は医師国家試験を経て、2年間の臨床研修(初期研修)を行 います。弘前大学医学部附属病院では種々の研修プログラムを用意し、 研修医のニーズに応えています。また、大学院に入学して研究をしながら 引き続き臨床経験を積むことができます。

更に、専門医をめざし臨床研修に特化したトレーニングを続けることも 可能です。





### 卒前・卒後の一貫教育で将来を担う医師養成

- ●医学・医療は日進月歩で、医師は生涯学習により、常に己を高めながら、社会に貢献することが求められます。
- ●このため、弘前大学医学部医学科では、学部教育に加え、卒業後も一環とした教育を目指しています。
- ●卒後2年間の臨床研修(初期研修)は、医師として必修です(厚生労働省で義務化)。
- ●その後、専門医研修(3~4年程度:後期研修)を経て専門医取得が可能です。 なお、専門医研修プログラムは、大学病院等(基幹研修施設)と関連研修施設等が、指導体制を構築し、研修の質を担保することが求められています。
- ●研究(科学)は進歩に不可欠 大学院での科学的思考・実践 → 学位(博士)取得

### 専門医 & 学位(博士)=車の両輪

## 専門医・学位取得を目指す医学科卒業後の進路



## 関連施設紹介 Related facilities introduction



#### 医学部附属病院

学生の臨床実習や医学研究の場として重要な機能をもち、青森県の医療の中心的な役割を担っています。通常の診療のみならず、国立大学附属病院卒後臨床研修共通カリキュラムに沿った若手医師の臨床研修の実施、特定機能病院としての高度な医療の提供・開発・評価及び研修も行っています。

#### 高度救命救急センター

救命救急センターの中でも各県に一カ所指定される高度救命救急センターです。緊急患者に対しても24時間365日対応可能な施設です。また、外来棟屋上のヘリポートから青森県各地の患者を受け入れる体制をもち、青森県の危機管理の一翼を担うための「緊急被ばく医療」の体制も整備を進めています。本学では、高度な医療とともに将来、青森県の救急医療を担う若い救急医を育成することもその責務だ





#### 医学研究科附属脳神経血管病態研究施設

脳卒中の基礎及び臨床研究と実地応 用を目的に、脳神経疾患の成因・病態 の解明、診断法の確立、治療・社会復 帰促進などに関する研究を推進してきまし た。現在は脳神経病理学、脳血管病態 学、脳神経生理学、脳神経内科学(附 属病院神経内科を兼ねる)の4講座が編 成され、先進的な脳神経科学領域の研 究成果を世界に発信しています。



#### 医学研究科附属高度先進医学研究センター

専任の研究部門と共同研究施設としての機能を備え、分子生物学及び糖鎖工学を基盤とした基礎医学と臨床医学の融合的研究を推進する目的で設置されました。専任の研究グループは自ら先進的研究を進めるとともに、高度な分子生物学的及び糖鎖工学研究技術をもって、全学の研究グループとの共同研究や研究支援を行っています。





#### 弘前大学医学部コミュニケーションセンター

医学部創立50周年を記念し、医学部と一般市民及び地域医師等 との交流を深める場として設置されました。保健及び医療に関する知 識の普及、最新の医学知識と医療技術の研修等を行うとともに生涯学



習の一層の充実を図ることを目的とし、 一般市民対象の生涯学習及び一般 医師等の医学研修会・検討会等に 使用されています。

#### 医学研究科附属健康未来イノベーションセンター

令和2年8月に設置され、産学官金民連携の下、子どもから高齢者までの幅広い世代における社会医学的・スポーツ医科学的研究などの学際的な研究を行っています。国民の体やこころの健康増進に関する提言、各種講演会・研究会等の開催、共同研究や国際交流等による指導的人材の育成を通じ地域の活性化に資すること、また我が国における医学的観点からの体やこころの健康・支援対策の社会実装モデルを提案することを目的としています。さらに、共同研究講座(大手企業:花王・ライオン・カゴメ・クラシエ・サントリー・ファンケル・味の素・大正製薬等)、それとコラボする基礎講座、臨床講座が関わり、地域社会や他大学研究組織とも接点を持ちながら研究を行っています。





# 奨学金について Scholarship

学業・人物ともに優秀かつ健康であって、経済的理由により修学が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、 選考の上、奨学金が貸与されます。

#### 青森県国民健康保険団体連合会

将来弘前大学大学院医学研究科・附属病院や青森県内の自治体医療機関で働く希望を持っている人達に修学に必要な資金が援助されます。

(令和3年度参考)

入学区分	支援内容	支援対象者	資金返還免除の条件	募集定員
通常入学	【特別枠】 入学料 授業料 (毎年度) 奨学金 (毎月) 〔月10万円・入学月のみ20万円〕	総合型選抜「青森県内枠」入学者	卒業後、青森県が設置している「青森地域医療支援センター」に登録し、支援期間の 1.5 倍の年数、弘前大学大学院医学研究科・附属病院または県内の指定医療機関に医師として勤務すること。	5名
	【一般枠】 入学料 授業料(毎年度)	同上	卒業後、青森県が設置している「青森地域医療支援センター」に登録し、支援期間の 1.5 倍の年数、弘前大学大学院医学研究科・附属病院または県内の指定医療機関に医師として勤務すること。	22名

#### 公益信託黄傳明·若子記念医学生奨学基金

- 1)主旨: 将来は「ふるさと」の医療に従事したいとの志をもつ医師の育成支援
- 2)応募資格:次の事項のすべてに該当する4年次の学生
  - (1)青森県所在の大学医学部に在学する我が国または台湾出身の者
  - (2)学業、人物ともに優秀であり、かつ健康である者
  - (3)学費の支払いが困難である者
  - (4)将来は青森県または台湾で臨床医療に従事することを希望する者
- 3)募集人員:4年次1名
- 4)金額・納付期間:卒業まで月額15万円で、返済は不要

#### 日本学生支援機構

日本学生支援機構が募集する奨学金制度で、高校在学中に申し込む[予約採用]と大学入学後に申し込む[在学採用]があります。

[在学採用]の募集は4月で、弘前大学では入学式以降に実施する説明会で関係書類を配布しています。

「高等教育の修学支援新制度」については、弘前大学ホームページ及び日本学生支援機構ホームページ等を確認して下さい。

(令和3年度参考)

			(13185 1755 37		
区分	第一種(無利子)		第二種(有利子/在学中は無利子)		
貸与月額	自宅通学者	20,000 円または 30,000 円または 45,000 円	- 20,000 円から 120,000 円の間で 10,000 円単位で額を選択		
	自宅外通学者	20,000 円または 30,000 円または 40,000 円または 51,000 円			
入学時特別 増額貸与	10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択(有利子)。対象は第一種奨学金 または第二種奨学金の貸与を4月から受ける者で、初回振込時に一時金として貸与される。				
貸与期間	最短修業年限の範囲内				
返還方法	卒業後 20 年を限度として定められた期間内に返還				

- ●日本学生支援機構の他にも、地方公共団体や民間団体等の奨学金制度があり、大学の推薦によるものと直接本人の申請によるものがあります。
- ●貸与又は給付される奨学金は、月額20,000円~50,000円程度です。なお、団体等によっては、日本学生支援機構との重複採用を認めないところがあります。

# サークル | Circle

#### 体育系

陸上競技部 準硬式野球部 硬式庭球部 ソフトテニス部 水泳部 サッカー部 ラグビー部 バレーボール部 (男子) バレーボール部 (女子) バスケットボール部 (男子)

バスケットボール部 (女子)

バトミントン部 卓球部 剣道部 競技スキー部 ゴルフ部 弓道部 空手道部 山岳部 自転車競技部 柔道部 硬式テニスサークル KIDS

FCバルサルバ

#### 文化系

写真部

茶道部 漢方医学研究会 国際医療研究会 管弦楽団 Medical Cool Quartet グリーンキャンパスクラブ Q' est 雪同好会『雪りんご』 天文サークルSpica 医ゼミサークルHISK



競技スキー部



管弦楽団



Medical Cool Quartet



Q' est



剣道部



ゴルフ部



ラグビー部



空手道部



自転車競技部



硬式庭球部

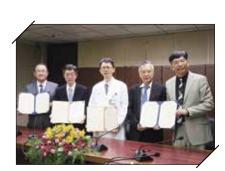
## 国際交流 International exchange

弘前大学は、令和3年5月現在、世界22の国・地域の53大学等と大学間交流協定を結んでおり、その 他、医学部単独では4カ国4学部と学部間協定を結んでいます。これらの内、台湾の馬偕醫學院とは交換学 生の協定を結び臨床実習の単位取得も可能な研修の機会を提供しています。

また大学間交流とは別に、三沢米空軍病院においても同様の研修(エクスターン)が可能で、こちらも毎年4 名程度の学生がお世話になっています。

これらはいずれも大好評で、毎年多数の 学生が応募していますが、医学研究科国際 交流研究委員会が様々な観点から人選して きました。学生のうちに海外の医学教育の一 端に触れることができる機会は、いろいろな意 味で大変貴重であると考えられ、また、実際 にこれらの研修を経験した学生達は大いに満 足しています。





# 著名研究者による

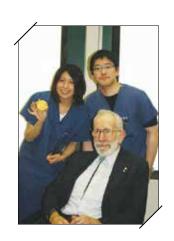
# 特別講義 | Special lecture

ヘリコバクター・ピロリの発見と消化性潰 瘍との関係を明らかにし、2005年のノーベル 生理学・医学賞を授賞したオーストラリアの Warren博士(上段)や、ゲル電気泳動法 の開発と遺伝子改変動物の作製・遺伝子 標的法の技術を確立し2007年のノーベル生 理学・医学賞を授賞したアメリカのSmithies 博士(下段)による特別講演が行われました。













# 医学部医学科

School of Medicine

#### ■弘前大学問合せ先一覧

本学部案内の内容について質問等がある場合は、下記にお問合わせください。

- ◎授業内容・カリキュラムについて医学部医学科学務担当 TEL 0172-39-5204
- ○入学試験について入試課 TEL 0172-39-3122・3123
- ◎学生寮について学生課課外教育担当 TEL 0172-39-3107・3115
- ◎奨学金・授業料等免除について学生課経済支援担当 TEL 0172-39-3117・3135
- ●弘前大学ホームページアドレス http://www.hirosaki-u.ac.jp/
- ●医学部医学科ホームページアドレス http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/